大項目	図形
小項目	図形を描く・作る
タイトル （教材名）	指なぞり
目的 身につけてほしい力	形を描いて、形の特徴をつかむことができる
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	線を引くことから、形を認識する過程の児童生徒への学習に有効である。凹凸があることで、線を描くところや形を認識しやすくなっている。また、ラミネートで加工していることで、繰り返し描くことができる。 【準備するもの】 ・発泡スチロール板 ・ラミネートフィルム ・視覚支援（形イラスト） 【作り方】 ① 発砲スチロール板を細く切る ② 切ったものを台紙にそって（グルーガン等で）ラミネートフィルムにはる ＊ 幅を狭めにすることで、より集中する力を要する ＊ 広くすることで、力加減や注視することに課題がある児童生徒もステップアップしながらとりくんでいくことができる
教材の使用方法	【方法１】　指でなぞる ・形をなぞる（スタートに印などをつけて分かりやすくし、よく見て指でゆっくりとなぞるように言葉かけをする）。 ・視覚支援（形イラスト）を提示して、図形の名称を学習する。 【方法２】　ペン（細い幅のものを使う）でなぞる ・ホワイトボード用ペンで、発泡スチロール板の間をなぞる。 ・角や丸みを意識しながら描く。 ・発泡スチロール板の厚みを低くしていき、最後は凹凸をつけないフラットなフィルムシートになぞり書きすることで、理解の定着につなげる。
その他	